

今号のわだい

- 【1面】全厚労第64回定期大会
- 【2面】大会発言、2016年度役員
- 【3面】埼玉譲渡報告
国際シンポジウム

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
http://www.zenkouro.org/

きたる変革、団結してのりこえる



力強い「団結ガンパロー」で締め括られた大会

厚生連であり続けるために

茂原中央執行委員長は
大会挨拶で「農協改革の
動きが始まり、厚生連は
『社会医療法人にしても

全厚労は9月9日～10日、「第64回定期大会」を山口・ホテルニータナカにて開催、19県167名が参加しました。一年の運動総括と埼玉県厚生連の解散をうけ、地域とともにある「厚生連医療」について改めて考える大会となりました。

いい」といわれている。厚生連は農協の組合員の利用を目的にしているため、医療介護の分野では

農協組合員1000人に対し非組合員100人まで利用できる」とされている。この比率は員外利用率と
言われているが、今まで病院だからと曖昧にされてきた。これを政府は厳しく調査すると言っており、「員外利用率が守れなければどうぞ社会医療法人に」と、厚生連が厚生連でいられない状況になるかもしれない。農協との関係を活かせなくなるとは大きなデメリットとなる。厚生連は『協同組合運動』を進めてきたということが1つの特徴で、全厚労は経営者と同じ目標については協力し歴史を積み重ねてきた。県連の違いはあれど、その違いを乗り越えて、またあえて違いを確認し合
いながらみんなで力を合わせる必要がある」と訴えました。また「全厚労は地域の皆さんの声を聞きながら、色々な組合・なかまと一緒に物事を進めていくことができる組織。この良いところを大いに発展させていくことをお願いしたい」と呼びかけました。

全厚労 新中央執行委員長から

全厚労ニュースご愛読者の皆様「こんにちは、全厚労第64回定期大会において中央執行委員長に就任致しました、三厚労の畑中剛喜です。

大会で決議された全厚労運動方針実現を目指し、各県とのつながりを一層深め活動してまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

私たちが働く厚生連病院は、農協改革の影響を受け財務状況に対する指摘が厳しさを増す中、農水省固定比率・特例年金制度負担金の問題もあり、各県の経営は厳しい状況を余儀なくされています。

また、安倍政権が押し進

める社会保障制度改悪は、2018年の医療・介護診療報酬の改定、2019年には消費税10%引き上げ、各都道府県で議論している地域医療構想会議での2025年を見据えた病床数削減など、経営への影響が危惧されています。

私たちが労働組合は、今何ができるのか！何をすべきなのか！

今一度、原点に立ち帰り見つめ直す時代かも知れません。

私を、四字熟語で自己紹介すると「剛毅木訥」だと自分では思っています。

私は少し人生で寄り道をしましたが、人の役に立つ仕事と思えば臨床検査技師に

病院つぎつぎに 労使ともに立ち向かおう

来賓挨拶では厚生連をいくには変化に対応していくことが求められる。対立するのではなく、それぞれの立場を尊重しながら適度な緊張感をもった労使関係を築きあげなければ、この厳しい状況を乗り越えられない。厚生連の病院がなくなってしまうことだけは避けていかなければならない



なりました。病院では、自分の付加価値として労働組合活動への参加、病院に花壇を作り花が咲いている景色を楽しんでいました。5年前からライフワークが、組合専従という本業に変わり今に至っています。全厚労の執行委員長としては力不足を実感しつつ、反面新たなチャレンジをさせて頂いていることに喜びを感じています。組合活動の一番良いところは、多くの人との出会いがあり、学びがあることだと思っています。

皆さん、一年間、共にがんばりましょう。

と話されました。

また日本医労連・原英彦副執行委員長は地域医療を守る運動を呼びかけ埼玉県厚生連だけでなく公的医療機関を先頭に黒字の病院であっても統廃合を迫る動きに「病院をつぶすな」と立ち上がる必要があると話されました。また「みなさんの病院ひとつひとつで地域医療構想についてどういった計画をもっているのかしっかりと確かめることが重要」と話されました。

大会では、5つの専門部と12県から計22本の発言がありました。発言要旨を紹介しします(発言順)。

働き続けられる職場づくりへ諸条件改善

広島・高本代議員

育児で辞めなくて済むよう育休3年制度を導入させるとともに、育短者のノーワークノペイ導入による人件費部分を夜勤手当の増額にあてさせたい。尾道支部では、予備率15%の確認書を盾に週休3日制の試行を確認した。一時金では年間協定4・5ヶ月と、過年度分の支給保留分についての交渉を行い、高齢者の一時金支給率の引き上げを勝ち取った。

薬剤師調整手当増額 各支部独自の改善も

富山・畠山代議員

固定比率問題等の理由で定期昇給は確保しながらも暫定給からの減額措置が続いている。一時金は昨年同様の支給となったが、今後計画が達成できないなら年末一時金での減額の意思が示されている。薬剤師調整手当は初任給で2・6万円アップさせ、薬剤師支度金の増額や紹介報奨金制度の創設があった。呼出手当では回数に応じて支給させることや、支部交渉において高岡では看護師の白衣の支給方法の改善、電子カルテ・冷温蔵庫配膳車の増設、滑川では自販機やエアコン・照明などで改善ができた。

労働条件変更は労使合意あつてと運動

福島・齊藤代議員

白河での変則2交替の動き

い。看護では均等割2交替の実施に入った。医療の質を担保するため夜勤協定遵守ができない状況で増員が必要だが、暫定的に専従手当3万円などでなんとか対応している。地域医療の継続と安心して働ける職場づくりに取り組む。

建築資材費増が壁に 看護署名では目標超過

茨城・江川代議員

一時金確保では、14秋闘1・3ヶ月回答の経験から生活給としての年間4ヶ月確保に向け、学習・意思統一を行い、200名以上の団交で、夏2・0ヶ月確保。労働条件では、時間外未請求の実態があり、業務上必要な委員会は時間外取得するよう再通知を出させた。パワハラ対策では、各支部で学習会を開催し、上司へも参加を呼びかけている。人員確保のために労使共同でできるものには取り組んでいく。16春闘では、土浦の跡地資産減と新病院の建築費が資材高騰などにより100億の負担増。この9月に理事会役員体制が変わり、埼玉のことは他人事ではない。就業規則変更の提案がされているが「不利益変更認めない、労使合意なければ導入しない」を徹底する。増員署名では、「くらしは全て政治の中にある」と3年間取り組み、外へ向けての取組みや医者からも協力を得るなどして、1200目標達成した。

給与大幅引下げ提案 今年度導入を阻止

新潟・畠山代議員

会から給与体系の見直し提案され、給与費を大幅に削減する案が出された。20〜30代ほど不利になり、現行給料表と比較し月3万から職種によつては7万円下がる新給料表(案)だった。年収、生涯賃金も大きく減ってしまう。また、手当の見直しも提案されている。団交を積み重ね今年度導入は阻止したが、撤回はしていない。第2組合は会と「給与体系あり方検討委員会」をつくり様々な手当見直しを検討している。新厚労は賃金労働条件を守るために頑張る。

事業所間経営格差を 総合経営で改善へ

愛知・杉山代議員

事業所間経営格差と看護職の夜勤問題で発言。郡部の病院のモチベーションが課題。平成29年度、自己資本100%目標。安定的な経営基盤がベア実現のためのステップと捉え、経営制度を見直すことによつて、郡部の経営改善を進めた。

医師会病院との統合 組合員増やし団結へ

徳島・榎口代議員

地味ながら着実に成果を上げて

年間一時金4ヶ月 確保へたたかう

長野・清水代議員

一時金では事業所間格差許さない立場で取り組んだ。計画乖離については、定昇削減の提案も出されていた。一時金は計画3・8だが、4・0もあり得るとの回答で、年末一時金のたたかいが焦点となる。扶養・配偶者手当の廃止も検討されている。夜勤協定遵守の課題は、女性部が点検しているが8日以内夜勤は56%、ペナルティ加算が延長された。

法令遵守で取り組み 老朽化対策も課題

静岡・西川代議員

数年厳しい状況で、計画以下の一時金支給。これまではJAの補助があり、計画以上に支給できたが、年度末でも事業所間格差の問題がある。負担軽減では、静岡は10万人当たりの医者数42位、看護師38位と低い中で、コンプライアンス重視で取り組んでいる。建物の老朽化も問題。築50年以上の病院もあり、職員の安全に関わる問題として取り組む。

労働者代表選挙を経て 統一労働協約を締結

神奈川・大塚代議員

36協定について。相模原で



埼玉の現状報告をする鈴木さん

は労基署の指導が入り、労働者代表選挙を行うが、2回の選挙でも過半数なし。神厚労の4つの要求を呑んでもらえば、第2組合が代表でも構わないと提案をした。4つの要求とは、①17年度までに残業減らす、②やむをえない事情がある者には免除を含めて配慮を行なう、③残業は指示がないものでも客観的に行つた場合は割り増し手当を支払う、④苦情処理の場をもうけ、当該職員・所属組合・病院の三者で協議して改善に努める。この②と④の2点について統一協約を結んだ。伊勢原でも2回目の選挙で、4票差で神厚労が1位になり、同様の統一協約を結んで、神厚労が36協定代表者となった。

青年の取り組みと リハビリ問題について

秋田・奥井代議員

2月の青年部ウインターフェスタには、「集まることも闘い」として1年に1度の取り組みに「全青年に声をかけよう」と例年より10〜20人多い72人が参加し、県外5名や医労連も参加し、89名で交流した。球技大会では、協力員も募集し先輩・後輩の交流も生まれた。リハ担当者会議が呼びかけた調査には、全厚労の協力もあり、19県66事業所から回答があった。包括ケアのリハビリでは、必要と思われる以上のリハビリもしな

大会へのメッセージを 頂いた組織

●全国組合

全医労 全日赤 全JCHO労組 全労災 国共病組 公共労

●県医労連

北海道 秋田 福島 富山 長野 茨城 埼玉 愛知 広島 山口 山形 東京 大阪 大分 鹿児島

●友誼組合・団体

全労連 国公労連 特殊法人労連 全農協労連 航空労組連 全国食健連 中央社保協 保団連 日本医療総合研究所 日中友好協会 日本原水協 全国革新懇 農民連 建交労 民放労連 鹿児島県農協連労組 (順不同)

大会役員

●議長団

赤岩 和子 (茨城) 押谷 亮平 (愛知) 小田 啓義 (山口)

●議事運営委員会

永井 悦子 (福島) 中島 千晶 (長野) ★澤田 和久 (愛知) 友枝 諭志 (香川) 安本真理子 (中執)

●選挙管理委員会

大平 雅浩 (新潟) 板越 真悟 (茨城) ★福村 友紘 (三重) 万里 昌美 (徳島)

●大会書記

奥田 剛司 (山口) 横峯 弘隆 (山口)

【次期選挙管理委員】

三北・富山 関信・長野 東海・愛知 西日本・徳島

★印は委員長

2016年度 全厚労役員

●中央執行委員長

田村 順子 (香川・新)

●中央執行委員

折笠由美子 (福島・再) 花澤 直樹 (長野・新) 川橋 康彦 (愛知・新) 岩本 一宏 (広島・再) ●書記長 松尾 晃 (本部・再) ●書記次長 和田 祐輔 (新潟・再) 安本真理子 (茨城・再)

●中央執行委員

長瀬 真幸 (北海道・新) 中村 悟 (秋田・再) 二瓶 研朗 (福島・再) 大平 雅浩 (新潟・新) 向井 崇 (富山・新) 畔上 稔男 (長野・再) 岡部 義秀 (神奈川・元) 鈴木 幸広 (静岡・新) 伊藤 直也 (岐阜・新) 小掠 瑞樹 (三重・再) 富永みち子 (広島・再) 松田 純一 (山口・再)

●中央執行委員長

茂原 宗一 (長野)

●中央執行委員

栗田 浩二 (北海道) 白井 康博 (新潟) 中川 健 (富山) 小野寺 誠 (埼玉) 関谷 幸夫 (神奈川) 外波山幸稔 (静岡) 大橋 朗 (愛知) 田口 学 (岐阜) 矢野 潤一 (香川) 浪除美千子 (高知) ●会計監査 武藤 進 (秋田) 豊田 幸恵 (岐阜)

ければならないという診療報酬上の問題も出ている。

「育児短時間制度の実態調査に取り組んで」

三重・大谷代議員

育児短時間制度の取得者が多く、実態調査を行い、7病院274名の回答を得た。夜勤勤務者が不足し、週4日労働、週30時間の働き方も提案している。52・1%が働きたいと回答。働き方の選択肢としていきたい。全厚労を支える分担金を50名増とした。

「不当労働行為申立と看護委員会の取組み」

新潟・柳代議員

不当労働行為申立てを県労委に行った。脱退勧奨、支部長の不当配転、新人勧誘での不平等扱い。第2組合が過半数になつてしまうことで、新厚労のこれまでの協定が事実上ない状態になることを心配している。看護委員会では、夜勤点検の他、ミニ学習や100名の参加で看護師集会を行い、セルフメンテナスを学んだ。グループワークでは、不払い残業、協定が守られない実態などを出し、今後は看護部長会と懇談の予定。サービス残業については、ポケッ



大会を支えてくれた山厚労のみなさん

ト版の超勤ハンドブックを作成し、アンケートも集約している。

「埼玉2病院の別法人への譲渡後の状況」

埼玉・鈴木代議員

4月に久喜が「巨樹の会」に譲渡、5月に熊谷が新法人に譲渡された。熊谷では、労働条件が2年間は現状維持、要求書も出して団交できていた。36協定の代表者や就業規則の見直し、労安委員会の労働者側委員選出をしている。久喜は、譲渡時に退職者110名。応援部隊も多いが、リハビリ中心で、リハは以前の5〜6倍の規模になっている。3〜6ヶ月で応援の人は引き上げて、現場は大変な状況が続いている。

「厚生連「存亡の分岐点」に私たちが地域へ発信を」

秋田・鈴木代議員

石西・栃木・埼玉など、全国の厚生連の「異変」について私は「存亡の分岐点」にあると見ている。秋田でも、2009年「経営改善計画」の中で湖東総合病院廃止論が浮上。この時は住民の運動で存続した。また、2006年、鹿角で精神科の常勤医師が不在になった時、支部の最初の行動は地域へのチラシ配布だった。埼玉の住民も「どうしても早く知らせてくれなかった」と話している。病院の「変化」は、私たちにどう日常茶飯事でも、地域住民にとって重大事件。厚生連が「存亡の分岐点」である今だからこそ、私たちの方から地域にもつと発信する必要がある。

「地域医療を守る課題で住民などの共同」

新潟・大平代議員

地域医療を守る課題。①長岡にある栃尾郷診療所・老健とちの16年3月廃止提案について、住民とともに運動し診療所を長岡中央総合病院の付属クリニックとして存続することができ、市より運営補助金も予算付けされた。②中条病院の看護師不足で、16年3月で90床の休止提案。介護職の雇用確保などで、4者懇談を行い、雇用確保は、隣接の中条第二病院で行う。③10年に指定管理者で受けた水原郷病院は、15年に新築され、阿賀野市民病院となった。良くする会を結成し、市民対話集会などを行い、8月には市長とも懇談した。

「全県での増員署名取り組みを評価」

茨城・美野輪代議員

2点について。看護増員署名が全県で取り組まれたことを評価したい。16年も新署名を全組織で取り組み。全厚労役員について、農協改革や改善計画が相次ぐ中、対抗する上でも組織強化が必要と考える。役員交代はそれに逆行するのではないか。交替理由と、中執での議論はどうだったのか聞かせてほしい。

「各専門部から」

青年・橋本さん(広島)

学習中心にやってきました。医労連の学習交流会とセットで青年委員会を開催、三重の

斉藤さん考案の脱出ゲームで、労組の大切さを学ぶことができた。今年のK'sは埼玉で開催する。多くの青年に参加し、欲したい。

「女性・助永さん(広島)」

「母性保護」と平和を重視して活動、安保法制や食の問題などでミニ学習を行った。女性集会では、日本国憲法の問題を伊藤真弁護士から学んだ。分科会は、生理休暇、妊娠・出産・育児、更年期・介護で、それぞれのニーズに応じた討論が出来た。全厚労は女性の要求を実現する取り組みを続けてほしい。

「看護・久寿米木さん(大分)」

15年10月の別府での幹部看護師集会について、「看護の原点」を学び、年代別分科会で、

本音で話し合えた。現場の状況は大変だが、それぞれに工夫して取り組んでいる。今年の10月は川嶋みどり先生を呼んで、学ぶ予定なので、多くの幹部と看護師に参加して欲しい。

「医療研・岡野さん(三重)」

住民参加の運動を考えるのが医療研集会。今年も埼玉で病院M&Aについてや住民の取り組みについて学習する。

「平和・片田さん(静岡)」

今年度は御殿場での日本平和大会、焼津のピクニデー、広島の世界大会に参加してきた。安保法制の問題点や核兵器廃絶の国際的な動きを知って、平和の大切さを感じて、これからは取り組みを強めたい。

特別報告

2病院の民間譲渡をめぐる

埼玉・久喜 小野寺誠

今年1月、突然「厚生連2病院譲渡」が発表された。譲渡先とは既に年末に基本契約を結び、3〜4月中旬に譲渡完了とする大変急なものであった。

久喜は「一般社団法人巨樹の会(佐賀県武雄市)」に譲渡され、「新久喜総合病院」となり、熊谷は北海道の「社会医療法人・北斗」が支援して「医療法人 熊谷総合病院」となった。埼玉厚生連は6月に解散し、新聞報道では負債総額65億とされている。

埼玉厚生連は「医療機関を守るため、全ての労働者の雇用と労働条件を当面維持すること」を意思統一し交渉に臨んだ。組合員の「一言カード」で不安や意見を突きつけながら、厚生連とは9回団交をおこなった。譲渡前から北斗とは懇談がもてたが、久喜は申し入れ書さえ受け取りを拒否した。

譲渡後の現在は、熊谷では大きな変化はないが、久喜では基本給10%カット、休日も国民の祝日がなくなり、譲渡時の離職者は110名にのぼる。

熊谷では労使関係ができて36協定・就業規則などの労働者代表として認められ、団体交渉も出てきている。巨樹の会は、労組の要求書を受け取ったが窓口のたらい回しを続けているようにしたい。

地域住民にも働きかけ、熊谷・久喜の両方で「つどい」が開かれ、「住民の会」が活動している。今後も住民の財産である病院を存続・発展させることに力をいれたい。

15年ぶりに医労連が国際シンポ

夜勤規制は国際的課題

9月6日、永田町の星陵会館で日本医労連国際シンポジウムが行われ、全厚労も参加しました。開会あいさつで、国際労働機関(ILO) 医療専門官のクリスチャンヌ・ウイスコー氏は、「質の高い労働には、ディーセントな労働が必要」と、ディーセントワークの重要性を訴え、さらに「ワークライフバランスを確立させることは複雑なことであるが、最も重要なことである」とし、仕事と生活の調和をとるための勤務体制が必要だと話されました。

次に、シンポジストとして、オーストラリア看護師助産師連合、フランス労働総同盟、韓国保健医療労組、日本医労連の代表者が各国の看護師の労働実態を報告しました。報告を受けて分かったことは、どの国も同じ問題を抱えているということです。もちろん国によって違いはありますが、人員不足や残業で過酷な労働となり患者さんを看護しながら自分自身の体を壊してしまうことや、看護師の賃金がほかの職と比べ低いのは「女性の仕事」という歴史的な背景があることなど、共通の問題点が浮き彫りとなりました。また夜勤の労働基準や交代制についての各国さまざまな法律や制度についてシンポジストと参加者の活発な意見交換も行われました。(詳細は医療労働者1654号に掲載されます)

今回のシンポジウムは、各国で命に直結する医療や保健分野まで営利化を狙う企業や、社会保障分野の国庫負担を減らすための政府の攻撃が強まる中で開催され、4カ国が国際的に連帯していくことの必要性を強く認識する機会となりました。



フランスの55歳定年退職要求について質問する富永みち子さん(広厚労)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第113回は秋田と山口をお願いします。



秋田 石川孝仁さん

北秋支部の薬剤師2年目、石川孝仁です。
北秋田市民病院の薬剤科は、わきあいあい助け合っ
て働いています。休みも相談して取れるので、職場の
皆さんに感謝です。まだ何も分かりませんが、まずは
勉強・参加するところからと思い、最近では支部のピ
ール会、新年会、定期大会、夜勤改善・増員要求の街
頭署名（なかなか集まらず難しかったです）、球技大
会、ウィンターフェスタ、定期大会に参加しました。
趣味は旅行で、秋田県内をはじめ遠くは九州まで行
きます。各地の美味しいものを食べ、名所を見てみた
くて出かけています。旅行した回数は、4月から数えて既に8回！直前に
計画を立て、宿も決めずに出かけたりもします。一番印象に残っているの
は、徳島県で体験した阿波踊りと、「阿波尾鶏」の焼き鳥です。いつかは
日本一周したいです。
先日、新しく支部の中央委員になりました。先輩から学びながら、職場
の人が働きやすい環境づくりをお手伝いしたいと思います。

山口県山口市の小郡第一総合病院で活躍する山
厚労中央執行委員の横峯弘隆さん（視能訓練士）
を紹介します。今年入職6年目の横峰さんは仕事
もプライベートも完璧にこなすスーパーマン!!
職場では、患者様に誠実に向き合い、「見ること」
「見えること」への喜びを伝えるべく、日々奮闘
しています。どんな時でも笑顔の対応で、彼の疲
れた顔は見たことがありません。プライベートで
は自転車（ロードバイク）を趣味にもたれています。
山口県の観光地としては「秋吉台」がよく知
られていますが、横峰さんは休日の早朝にトレ
ーニングの一環で、自宅から秋吉台までサイクリングされるそうです。往復
60km…です。なにかの集会で見かけたら、声をかけて下さい。鍛えら
れた下半身と、人柄がにじみ出た笑顔で答えてくれますよ!!



山口 横峯弘隆さん

オススメ! 医労連共済 入院せずとも休業給付44日!

平成25年10月に1200ccのオートバイに乗車中、信号が青になり走り出した瞬間、後ろの車に追突され、はずみで前の車にも追突する3台玉突き事故に遭いました。頸椎と腰椎にケガしましたが、幸いにも入院はせず、通院治療中ですが、仕事はリハビリなので、患者さんを介助したり、運動したりは疼痛のため出来ず、やむなく仕事を休ませていただきました。医労連共済に加入して休業給付がトータル44日も受け取ることができ、ほんとに、ほんとに助かりました。医労連共済に加入して良かったです。感謝の気持ちでいっぱいです。



(医労連共済に届いた全厚労組合員さんからの声)

スマホからの
クロスワードパズルへの
応募も募集しています。



読者の声

7月号に労働学校の記事が掲載されていきました。執行部の方々は、労働条件、賃金アップ交渉、組織の維持・拡大、組合員への教育宣伝、そして次世代の育成と様々なことに責任を持って活動されています。労働学校はまさに次世代の育成であり興味深く読ませて頂きました。(富山)

記事がとってもおもしろかったです。団体交渉の場に行くことほいほいですが各団体の交渉の仕方など興味があります。交渉テクニックを使用してみたいと思います。ありがとうございます。(北海道)

労働学校すばらしいと思います。これからの労働組合を支えてくれる若い人材にいろいろな勉強してもらって、よりよくなってもらいたいと思います。(富山)

自分たちの生活と権利を守るのは組合です。組合員一人ひとりが組合員としての自覚を持ち執行部を支えることがとても大切な事だと思います。(MK)

労働学校で団体交渉の進めかたの

労働学校で団体交渉の進めかたの

労働学校で団体交渉の進めかたの

労働学校で団体交渉の進めかたの

ザクロスワード

出題▶モロズ三勝

1	2	3	4	5	6
7			8	9	
10		11	12		
13		14	15		
16				17	
18	19		20	21	
22		23	24		25
26		27			

- ヨコのカギ
- 1 ♪夕焼け小焼けの……
- 5 天井の反対語
- 7 秋を代表する魚
- 8 トランプ札の12
- 10 売り……に買い……で口げんかが始まる
- 12 太陽をとりまくガス層
- 13 ターザンの乗り物?
- 14 体に着るもの
- 16 日常の用に使う……印
- 17 人生…古来稀なり
- 18 株式会社設立の……金は1円でもOKです
- 20 世界文化……に登録された国立西洋美術館
- 22 ヌリカベや子泣き爺
- 24 材料。建築……
- 26 太公望が見つめます
- 27 かげ絵のことです
- 25 23 21 19 17 16 15
- 13 11 9 6 5
- 4 3 2 1
- タテのカギ
- 1 よいっばりの……寝坊
- 2 名所や温泉を……旅行
- 3 なす科の赤い野菜
- 4 あたまテカテカ……ド
- 5 ラエもん
- 6 EUの主な通貨単位
- 9 9月は長月、10月は?
- 11 ……情緒ある建物
- 13 学生などがする内職
- 15 大蔵(いまは財政)大臣の別称は?
- 原因……行方……
- ふつうの人が住む家
- 人や物がゴチャゴチャ
- 魔女の乗り物
- 小説に添えるイラスト
- ……の上にも3年
- 釣り……クモの……